

第143回 中小企業景況調査報告書(概要版)

平成 27 年 1 月～3 月実施

平成 27 年 4 月～6 月予測

福岡県商工会連合会

この調査は、中小企業の景気動向について、その実態と要因を四半期ごとに分析し、業種間の比較によって差異分析を行い、その分析結果に基づき、今後の経営活動の健全な発展を図るために業種別の景況情報を提供する。

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接聞き取り調査
2. 調査時点 平成 27 年 3 月 1 日 (日)
3. 調査対象時期 平成 27 年 1 月～3 月
4. 調査対象企業 須恵町・筑紫野市・宗像市・大刀洗町・八女市・柳川市・水巻町・みやこ町・飯塚市・大任町の 150 企業
5. 回答企業 150 企業 (有効回答率 100.0%)

製造業		建設業		小売業		サービス業	
企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比	企業数	構成比
30	20.0%	20	13.4%	41	27.3%	59	39.3%

☑ 県下産業全体 (業況:売上額 D.I)

➔ **わずかに改善の兆しがあるも、一進一退の状況が続く福岡県の中小企業景況**

期間	製造業		建設業		小売業		サービス業	
平成 26 年 1 月～3 月		△7.2		0.0		△29.2		△17.2
平成 26 年 4 月～6 月		△13.3		△15.0		△35.0		△23.8
平成 26 年 7 月～9 月		△36.7		△20.0		△36.7		△17.0
平成 26 年 10 月～12 月		△3.3		△35.0		△58.5		△28.7
平成 27 年 1 月～3 月		△16.7		△30.0		△53.6		△15.5

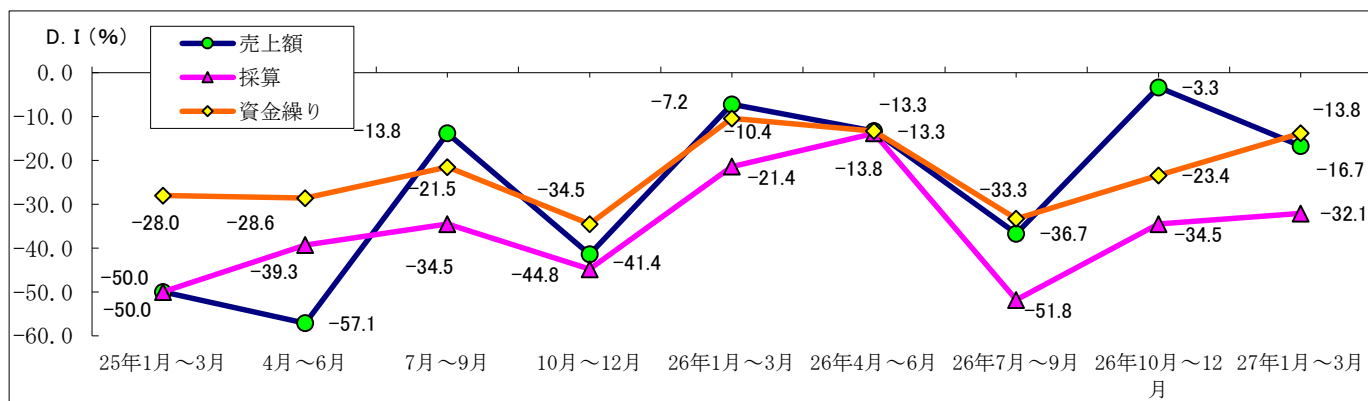
< 天気図の見方 >

D. I 値	100.0～30.1	30.0～10.1	10.0～△10	△10.1～△30	△30.1～△100
表示	【快晴】 +30.1 以上	【晴れ】 +10.1 ～30.0	【薄曇り】 △10.0 ～10.0	【曇り】 △30.0 ～△10.0	【雨】 △30.1 ～△100

県下産業全体の売上額 D. I 値を前回調査時 (平成 26 年 10 月～12 月) と比較すると 4.5 ポイント改善している。前回調査時からの改善の要因は、製造業で 13.4 ポイント悪化したものの、建設業、小売業、サービス業で改善しているためである。

☑ 製造業（有効回答数 30 企業）

➡ **一部に受注増の動きがみられるものの、依然コスト高に苦しむ製造業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

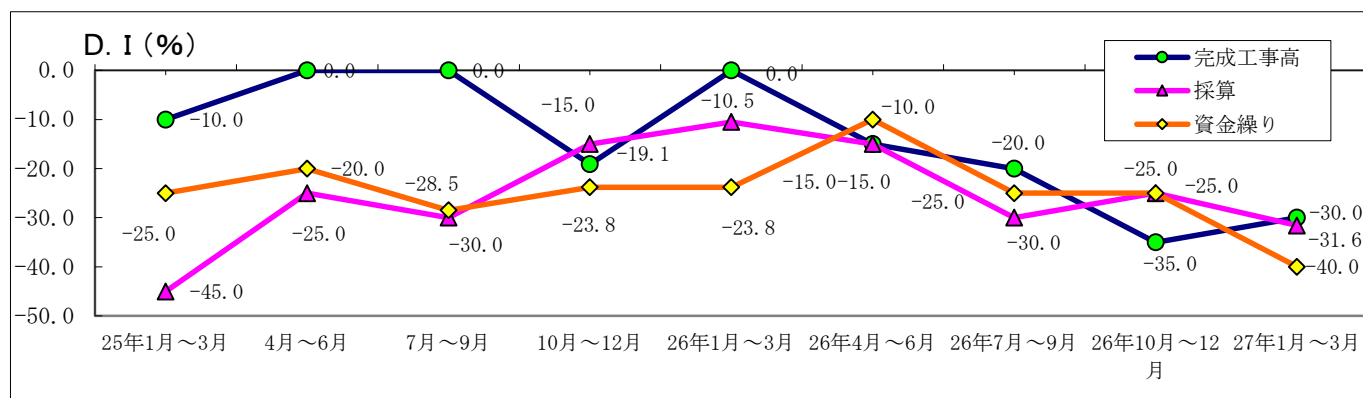
- ・原材料の高騰が続き、厳しい経営状況が続いている。（生菓子製造業）
- ・求人募集しても応募が無く、人材確保にも影響が出ている。（酒類製造業）
- ・円安による原材料の高騰と価格競争が激しい中で、顧客へ新しい切り口で提案し受注していかなければ今後はより厳しくなっていくと感じている。（切削工具製造業）

<経営上の問題点>

前期			今期		
第1位	原材料価格の上昇	24.1%	第1位	生産設備の不足・老朽化	25.0% (+7.8)
第2位	生産設備の不足・老朽化	17.2%	第2位	原材料価格の上昇	17.9% (-6.2)
第3位	需要の停滞	17.2%	第3位	需要の停滞	14.3% (-2.9)

☑ 建設業（有効回答数 20 企業）

➡ **年度末の受注はあるものの、資材価格高の影響で収益が悪化した建設業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

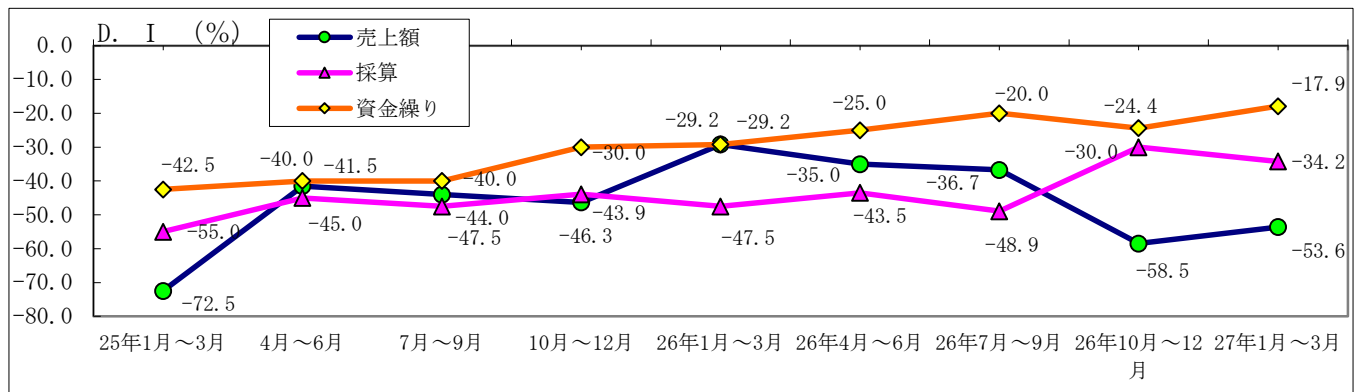
- ・見積り依頼の減少・受注量の減少により、同業他社との価格の競争が激化してきている。（鉄骨・鉄筋工事業）
- ・民間需要の停滞の長期化により、業績は悪化の道をたどり続けているため、予測も立て難い。（内装工事業）
- ・マンション等の建設過剰で今後の大幅な需要減少を懸念する。また材料・燃料高騰も気になる。（木造建築工事業）

<経営上の問題点>

前期			今期		
第1位	請負単価の低下、上昇難	18.7%	第1位	材料価格の上昇	22.2% (+3.5)
第2位	材料価格の上昇	18.7%	第2位	従業員の確保難	16.7% (+4.2)
第3位	材料費・人件費以外の経費の増加 他	12.5%	第3位	請負単価の低下、上昇難	16.7% (-2.0)

☑ 小売業 (有効回答数 41 企業)

➡ **個人消費の落ち込みや競合店の進出などの影響で、依然厳しさが続く小売業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

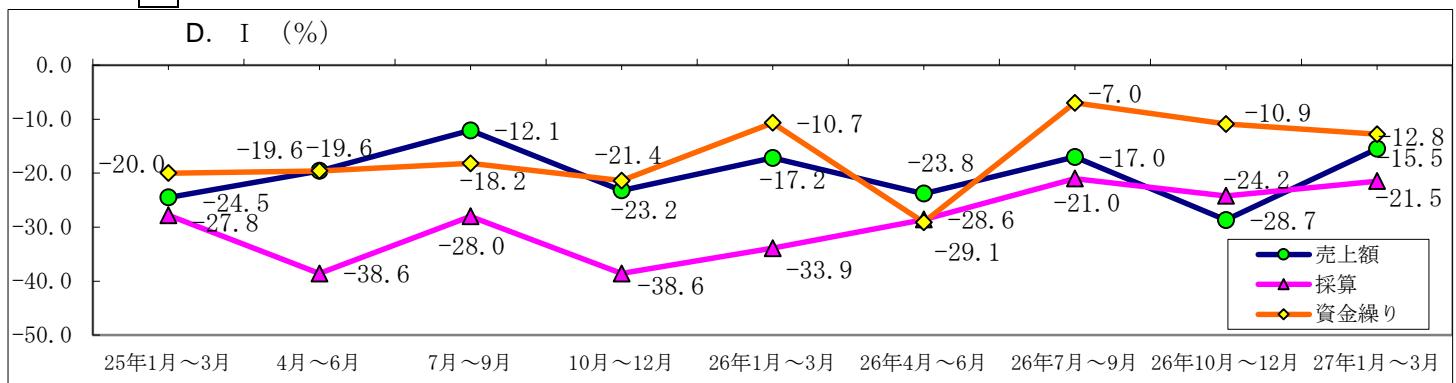
- ・消費者の購買意欲が一向に上向きにならないように感じる。(野菜小売業)
- ・大型店の進出に伴う価格競争には太刀打ち出来ない。(電気機械器具小売業)
- ・お得意様の死亡や病気などによる顧客の減少で困っている。(各種商品小売業)
- ・円安で商品価格上昇や一部在庫商品不足も発生している。(衣服等小売業)

<経営上の問題点>

前期			今期		
第1位	大型店・中型店進出による競争の激化	29.4%	第1位	大型店・中型店進出による競争の激化	25.0% (-4.4)
第2位	販売単価の低下、上昇難	14.7%	第2位	購買力の他地域への流出	16.7% (+2.0)
第3位	購買力の他地域への流出	14.7%	第3位	消費者ニーズの変化	13.9% (+2.1)

☑ サービス業 (有効回答数 59 企業)

➡ **一部業種で改善の動きがみられるサービス業**



<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・運賃がわずかに上昇したものの、燃料代も上昇してきているので厳しい状況が続いている。(道路貨物運送業)
- ・海外からの観光客が大量に来日しているため、今期はそのインバウンドの影響で客数が増加し、回転数が上がり業況が良くなった。(一般貸切旅客自動車運送業)
- ・業況は厳しいが食材にこだわり、心をこめて商品を提供し続けており、早い業況の回復を願っている。(飲食店)
- ・従業員の高齢化に悩んでいる。(美容業)

<経営上の問題点>

前期			今期		
第1位	需要の停滞	18.7%	第1位	利用者ニーズの変化	25.5% (+13.0)
第2位	利用者ニーズの変化	12.5%	第2位	需要の停滞	13.7% (-5.0)
第3位	従業員の確保難 他	12.5%	第3位	従業員の確保難 他	11.8% (-0.7)